

第 5 回「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する 検討会議」の開催結果について

1 要旨・目的

11月2日（水）に岡山市内（ホテルグランヴィア岡山）で開催された第5回「芸備線 庄原市・新見市エリアの利用促進等に関する検討会議」の開催結果について報告する。

2 現状・背景

令和3年6月に、JR西日本から広島県、庄原市、岡山県、新見市へ申し入れがあり、これを受け、JR芸備線の庄原市・新見市エリアの現状等を把握し、利用促進について協議・検討するための会議を開催している。

3 概要

(1) 対象者

構成員：広島県、庄原市、岡山県、新見市、JR西日本(広島支社・岡山支社)

(2) 事業内容（実施内容）

令和4年度における利用促進事業の中間報告のほか、秋以降の利用促進事業の取組の方向性などについて、発表・意見交換を行った。

【発表内容（発表順）】

構成員	発表内容	
	取組の方向性	主な取組
【広島県域】 広島県 庄原市 JR 広島支社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庄原市が掲げている3つの柱（利用促進への市民参画の推進、生活交通としての利用促進、市外からの乗客の呼び込み）により関係者が一丸となったインパクトのある利用促進策を実施し、利用客の増加に資する取組を推進する。 ・ 沿線市町及び芸備線対策協議会等との連携により、広域的な観点から、日常利用・観光利用の機運醸成を図る。 ・ 「ファクトとデータ」に基づく検討を進めるため、情報収集・分析の観点を踏まえた取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庄原ライナーの運行開始と併せた、ツアーの実施、帝釈峡へのシャトルバスの運行、「MaaSステーション」の開設等【庄原市】 ・ 通学利用促進事業、県SNSや「ひろしまラボ」による情報発信等【広島県】 ・ 県、庄原市のほか、芸備線対策協議会と連携した取組や、関係人口創出にむけた実証事業（「おてつたび」）等の紹介【JR西日本広島支社】

<p>【岡山県域】</p> <p>岡山県</p> <p>新見市</p> <p>JR 岡山支社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道の利用意向がある人の行動変容を促す。(潜在ニーズの顕在化) ・ 鉄道の利用意向が無い人の意識変容を促す。(新たなニーズの創出) ・ 新見市と J R 西日本のファンを増やす。(リピーターの獲得) <li style="text-align: center;">↓ ・ 3つの取組の相乗効果による利用者の増加を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次交通の改善に向けた予約型乗合タクシーの実証運行, 新見市在住の希望者に「オリジナル ICOCA」の配布【新見市】 ・ 「岡山デスティネーションキャンペーン」, 「おかやま秋旅キャンペーン」【岡山県】 ・ 「岡山デスティネーションキャンペーン」に合わせた臨時列車の運行や各地区での鉄道体験イベント「おか鉄フェス」の開催【J R 西日本岡山支社】
--	--	---

(3) **スケジュール**

次回 (第6回) 検討会議開催時期: 令和5年5月頃 (場所: 広島市内)

内容 (予定): 令和4年度利用促進事業の振り返り・評価

(4) **予算 (単県)**

鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業 27,000 千円に含む。

(5) **今後の対応**

芸備線を利用していない人を芸備線利用者に転換していくよう, 広域的な観点を踏まえ, 移動需要の調査・分析や沿線対策協議会 (芸備線・福塩線) の取組支援に取り組む。